

## 研究報告書 「関西の都市再生に向けた提案」～

### 『求心力ある都市圏』の形成と『ゲートウェイ機能』の導入』の概要

(財)関西社会経済研究所

関西の都市再生の課題と方策について、跡田直澄・慶應義塾大学商学部教授（前大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）を主査として検討を続けてきたが、その研究成果を標記提案として取りまとめ、平成14年5月17日に発表した。

本提案は、旧関西社会経済システム研究所の研究活動「経済再生に向けての具体的方策・手順について・・・関西の視点から」の一環として、関西の経済再生に向けて取り組むべき都市再生プロジェクトについて検討してきた結果を取りまとめたものである。

経済低迷が長期化する中、国の活力の源泉でもある都市の魅力・国際競争力の向上が切に求められている。持続発展可能な社会、自然との共生など、21世紀の新たな都市像を模索する動きも活発化している。都市再生本部によるプロジェクト選定や都市再生特別措置法の制定など、国による積極的な取組みが展開され、関西でも、地元自治体をはじめ、経済界、民間企業等において、関西の都市再生のあり方への議論が高まっている。

こうした流れを受け、自治体等の各主体の取組みとの関係性に留意しつつ、関西の都市再生に向けた提案を取りまとめた。研究成果のポイントは、以下に示すとおりである。

#### < 論旨の概要 >

1. 長期的・広域的視点での関西都市圏の再生ビジョンとして、「産業とライフスタイルの創造による『求心力ある関西都市圏』」を目指す。「選択と集中」で資源を効果的プロジェクトに重点投入し、早期実現を図る。
2. 関西の都市再生に向けての重点的な課題として、**ゲートウェイ機能**（域外へのアピール力強化に資する拠点機能・高次都市機能）の**集積**、**既存都心部の活性化**（ITベンチャーやクリエイター、エンターテインメントなどの「まちなか産業」の振興と都心ライフスタイルへの対応等）と**産業の再生**、**環境文化圏の形成**（魅力的な都市環境の実現と循環型社会への広域的取組み）の3領域を位置付ける。
3. 独創的な構想を具体的に提案するなかでも特に、関西の都市再生の起爆剤となり、関西都市圏の求心力を高める**5つのトリガー・プロジェクト**（ゲートウェイ機能の強化、ものづくりにおける「匠」の技と先端技術研究の協働、教育や医療分野での特区創設と企業・人材・患者等の誘引など）を策定した。

#### < トリガープロジェクトの提案 >

##### A. 関西ゲートウェイ機能の強化（関西の都市再生のシンボルプロジェクト）:

『求心力ある都市圏』の形成に向けた都心への**拠点機能の集中導入**隣接圏域やアジア・世界との**結びつき**を強め、交流メリットのアピールポイントとなるような**高度な都市機能**を、**立地至便な都心部**に集積させる。

国際ゲートウェイに相応しい**高度なサポートビジネス**（通訳、特許、法律、会計等の専門家）の充実、**国際的なNGOの中核活動拠点**の誘致、**外国人向けの居住環境**の整備と情報提供・入居支援、独創的で質の高い教育環境の提供（「**教育特区**」）な

どにより、関西に人・資金・企業・情報が集まってくる仕組みを築く。  
条件整備として、交通ネットワークの都心部での重点整備（なにわ筋新線など）と  
大都市ターミナル機能の強化（駅改修による乗換え利便性の向上など）を進める。

**B. 「匠の都」づくり：先端技術研究と高度なものづくり技術集積の協働による産業再生**

先端技術研究機関の関西における集積と多様な基盤技術の伝統的蓄積を活かし、両者のマッチングで21世紀の関西を支える新製造技術を確立する。

特に、先行するライフサイエンス領域での拠点形成に加え、産業分野の裾野が広い  
ナノテクノロジーをテーマとしたネットワーク型の研究開発拠点を形成する。

**C. 国際高度医療センター：国際的高度医療COE（Center of Excellence 高次技術の最先端拠点）の形成と関西の強みを活かした新医療分野の開発**

ライフサイエンス分野での強みを活かし、高度医療の国際的ハブ拠点を形成する。  
外国人医師の登用をはじめ、医師免許や保険適用などでの規制緩和を推進する「**国際医療特区**」に指定する。

既存機関との連携で、高度な医療ニーズに対応したワンストップサービスを提供。  
関西国際空港をはじめとする高い交通利便性を活用し、高度医療を求める患者を全世界から集め、世界水準での極めて高度な医療サービスを提供する。

**D. 都市再生のための“まちなか”づくり：再生モデルとして大阪都心部で先行的展開**

大阪都心部を対象とした「まちなかづくり」のモデルとして、クリエイティブ領域  
やポップアート、IT産業などの分野を「まちなか産業」として育成していく。

SOHOなど新たなワークスタイルに対応したまちづくりを柔軟に進めるべく、  
タウンマネジメントの仕組みを制度化し、活動に対する優遇措置(税制等)を講じる。

**E. 「環<sup>わ</sup>の都」大阪の創出：関西の環境再生と魅力的な都市空間の形成**

多極分散型の都市構造を活かし、持続可能な循環型都市圏の形成を広域展開する。  
具体的取組みとして、都心の森づくり、ベイエリアの自然再生と森づくり、水都の  
再生、ごみゼロ先進地モデルの形成を進める。